



代表理事よりごあいさつ申し上げます

安藤健二郎

私ことで恐縮ですが、令和8年5月27日に開催されました第173回宮城県医師会臨時代議員会における役員選挙で宮城県医師会会長に選任されました。本年6月末から県医師会長としての仕事が始まります。



一般財団法人
医療介護ネットワーク推進財団MIYAGI
代表理事 安藤 健二郎

これまでの3期6年、仙台市医師会で会長職を務めさせていただきました。全国の政令指定都市医師会の連携の中で他都市医師会の先進的な取組をさまざま知り刺激を受けました。中でも医療・介護情報の施設間共有はどの医師会でも重視されているテーマです。

わたしたちにはMMWINがあります。国内有数の地域医療情報連携ネットワークです。ネットワークの大きさ、機能の高さ、ともに大将級と自慢することができます。そんなMMWINに『もっと日常的に、手軽に、気軽に、誰もが利用できる情報共有ツール』としての機能を持たせることはできないでしょうか。

- ★MMWINをどのように工夫すれば、地域の診療所や介護施設、薬局での情報連携や共有が手軽にできるのか？
- ★MMWINがもっと県民の皆さまに使っていただけるような鍵はなにか？
- ★MMWINと宮城県民アプリ「ポケットサイン」をさらにつなげるアイデアは？
- ★MMWINが県民にとって、県内のすべての医療機関・介護施設にとって、なくてはならないツールになるためにどのようなアイデアが必要か？
- ★MMWINを県境を越えて活用する考えはどうか？

などなど、県医師会長の仕事として、MMWINの代表理事として、ITの素人として、真剣に考え、専門家の意見を入れて具現化したいと思っています。

皆さま方からの新しいお考えもぜひ、お聞かせ願います。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



MMWINコミュ機能の活用例 —集計作業の効率化—



MMWINには、セキュアな環境でチャットやファイルの送受信ができる「コミュニケーション機能」があります。栗原中央病院様と主要連携薬局様では、栗原中央病院様が作成された吸入指導依頼票の授受にこの機能を使っており、呼吸器疾患患者様の指導およびデータ集計に活用しております。MMWINのコミュニケーション機能を活用することで、Excelファイルをそのまま送受信できるため、従来のFAX運用でかかっていたデータ集計作業の手間と時間を、大幅に削減することにつながっています。

2026年4月、主要連携薬局の日本調剤くりはら薬局様がMMWINの運用をスタートし、上記の連携に参加されました。この連携を行なっている、栗原中央病院の宇佐美先生と、日本調剤くりはら薬局の山田管理薬剤師にお話しを伺いました。

「論文作成に必要な一次データ集めがMMWINで迅速に」

論文を書くうえで、一番大変なのは一次データ*1を集めることです。

これまでは薬局からの報告を見ながらExcelへ入力していて、例えば1人3分かかる場合でも、300人分なら900分かかります。論文として説得力を持たせるには、最低でも100人以上のデータが必要になるので、本当に大変でした。

今は、MMWINのコミュ機能を使ってデータをやり取りできるようになり、**一次データの集計がかなり楽になりました。**

薬局とのやりとりは、医事課スタッフの協力もあり、特に手間が増えたりすることもなくスムーズにできています。

さらに最近AIを組み合わせることで、統計処理もより簡単にできるようになっています。MMWINコミュ機能とAI*2を組み合わせることで、活用の可能性はかなり広がると感じています。自分自身も、技術的な挑戦を続け、今後もいろいろ試していきたいです。



栗原中央病院
呼吸器内科部長
宇佐美 修先生



栗原中央病院様作成：
吸入指導依頼書

*1 本事例は関係施設間の同意および適切なオプトアウトのもとで実施されています。

*2 個人情報を除外した統計処理を目的としたAI活用を指します。

「業務の手間が減り、個人情報保護にも有効」

従来は、所定の様式に指導結果を入力し、印刷してFAXで送信していました。

MMWINコミュ機能へ切り替える際、入力項目はこれまでと似ていたもので、特に迷うことなく使い始めることができました。Excelのチェック式になったことで入力の手間も減りましたし、必要なことは備考欄に記載できるので、**以前より楽になった**と感じています。また、FAXの送り間違いがなくなるため、**個人情報保護の面でも有効**だと思っています。

今後は、コミュ機能以外でも通常の診療情報参照としても活用していきたいと考えています。患者さんとお話ししていて気になることがあった際や、処方内容が変わっている場合でも、患者さんご本人やご家族が、その理由を十分に把握されていないこともあります。そうした際の確認として、特に検査値の確認などに活用していきたいです。

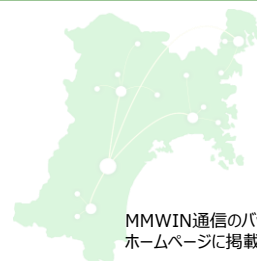


日本調剤くりはら薬局
管理薬剤師
山田 大空先生

MMWINのコミュニケーション機能は、他にも施設間同士の転院調整や情報共有など幅広く活用されています。ポータルに標準搭載されている機能のため、スムーズに活用をスタートすることができます。FAXに代わる新しい連携ツールとして、ご興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

一般財団法人 医療介護ネットワーク推進財団 M I Y A G I
〒980-0872 仙台市青葉区星陵町1-1東北大学病院仮管理棟1F
【事務局】 【サポートセンター】
TEL 022-725-8411 FAX 022-725-8514 TEL : 022-399-6880
E-mail : office@mmwin.or.jp URL : https://mmwin.or.jp/

当財団からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般財団法人 医療介護ネットワーク推進財団MIYAGIの登録商標です。
※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



MMWIN通信のバックナンバーは
ホームページに掲載しております